

# 樋口 強

## いのちの落語講演会

- 第一部 いのちの落語  
—あの日を忘れない—
- 第二部 岩手被災者ミニ講演と座談会  
鈴木ツマさん(大船渡市三陸町在住)  
熊上 渚さん(大船渡市大船渡町在住)



笑ってたほうが楽しいよ

日時 **10月9日(日)**  
開場12:30 開演13:00~16:00

会場 **福岡市早良市民センター 4Fホール**  
福岡市早良区百道2-2-1  
西鉄バス「藤崎バス停」  
市営地下鉄「藤崎駅」下車すぐ

前売り 2,000円 当日 2,500円

### ■樋口 強氏プロフィール

いのちの落語家。1952年生まれ。新潟大学法学科卒業。東レ㈱入社。新事業立ち上げの最前線にいた1996年43歳のときに、3年生存率5%といわれた肺小細胞がんに出会う。

2001年からがんの仲間と家族だけを招待して「いのちの落語勉強会」を毎年開催する。

2004年退社。執筆の傍ら、いのちの落語と語りをセットにした独自のスタイル「いのちの落語講演」を全国に展開する。

2011年、社会に感動を与えた市民に贈られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

著書に、「いのちの落語」、「生きてるだけで金ダル」、「今だからこそ良寛」など多数。

### 講演会開催によせて

「がんになっても安心して暮らせる社会に」との願いのもと、私たちががんを学ぶ「青葉の会」は、患者と家族の情報交換の場として設立し、2010年8月NPO法人化、2016年4月設立13周年を迎えました。

今回は、肺小細胞がん、余命宣告を受けるも、今年で20年目を迎えられる、作家・落語家の樋口強氏をお迎え致します。5年前の東日本大震災から岩手県に通い続け、その中に、がんを背負って家族と家も失い、苦しみのどん底から、樋口氏の落語を聴いて笑えた方がいたのです。

私はこの切羽詰まったときでも、笑うことができ、新しく生きる一步を踏み出せた、お二人の生き証人を、樋口氏と共に呼びかけたいと考えました。

今、熊本・大分では4月の大地震で被災された方がたくさんいらっしゃいます。5年前の大惨事を乗り越えられたからこそ伝えられる、岩手からのメッセージが、被災された方々に、また病氣などで悩んでおられる方にも、苦難を乗り越えられるキッカケを、見いだせることができたらと願っています。

代表 松尾俱子

申込み方法

チケットご希望の方は、郵便局の**青色の振込用紙**にて、必要枚数(2,000円×人数分)、お名前・住所・電話番号をご記入の上 青葉の会番号 **01730-8-144725** にお振込みください。

当日 **控えが参加券** となります。申し訳ありませんが、振込料はご負担ください。